

# ふじかわ

43・2月

43. 2. 15

No. 89

面積	31.09km <sup>2</sup>
人口	43.2.1 現在 14,893人
男	7,373人
女	7,520人
世帯数	3,271世帯
町議員数	18人



南松野と由比町を結ぶ

## 林道 桑木穴・足ヶ久保線 開通

写真 1月30日の開通式

昭和四十三年一月三十日、町民とくに松野地区住民宿望の路線である林道、桑木穴・足ヶ久保線の開通式が、現地で挙行されました。南松野足ヶ久保と桑木穴を結ぶ延長五千メートル、松野村当時に計画され、昭和二十六年に着工昭和三十三年の合併を機に本格化し、この間、災害による工事中断期も含めて実に十六年の歳月を要した難工事であり、一千六百七十万円の工費（一般財源九百七十万円・残は県補助金と地元負担金）を投入、地元土地・労力提供等の全面的協力を得て完成したものです。

これにより、南松野は足ヶ久保を経て由比町と完全に連絡、産業経済交流は勿論、沿道に展開する新鮮な景観から観光道路としてもふさわしく、将来その価値をいっそう高めることでしょう。

（一月号に一部既報）

# 町民交通傷害保険

## 四月一日から実施

### 一日一円で一年間を補償

交通対策は、国、地方を通じていまい一番大きな社会問題となっています。国道一号线に縦断され、完全舗装になってから急激に交通量を増した県道富士川富沢線をかかえた当町は、ここ数年來、交通信号燈、国道鉄橋の歩道、旭町の歩道橋、国道沿い歩道（本通四ノ幸町）を次々に施設し、近く駅前にも歩道橋を架設する等、交通安全対策を積極的に進めるとともに、事故発生に備えては町内六ヶ所に緊急用担架を設置町民を恐ろしい交通事故から守ろうと努力しています。

しかし、交通事故の問題が、具体的な補償の手段を真剣に考えなければならぬ段階にはいつてきており、事実「交通事故の補償は市民の手で」という切実な声が、全国各地で交通災害共済制度の実施となつてあらわれています。

住民を交通事故の危険から守り、不幸にも交通災害を受けた住民の救済をすることは、地方公共団体だけが責任を負うべきものとは言えませんが、住民の福祉を目的とし、身近な問題を取扱う市町村にとつては、やはり捨てておくことのできない要素を含んでいるからです。

### 現在の交通事故

#### 補償制度には

現在、交通事故による被害者を保護する制度としては、自動車損害賠償責任保険がありますが、この制度は、傷害の程度の認定、加害者との示談、和解等がスムーズに進むとは限らず、急場間に合うものとはいえないのが現状であり、とくに低所得者が交通事故で入院治療を要する場合、家族は生活に困窮し、悲惨な状態になる例

が数多くみられます。

#### 交通災害共済制度に

##### 三つの方式

この点、各市町村で実施し始めてきている交通災害共済制度では、可能な限り安い保険料で補償をし、保険金の支払いも迅速に行なわれます。

交通災害共済制度には三つの方式があります。

- 一 直営方式は、運営上の危険負担（事故発生が多かった場合、一般財源による補てん）がありますが、適正な保険数理によつて会費を決め、また運営上剰余金が生じたときは、交通相談所の充実等交通災害対策関係の事業の財源に充当することができます。
- 二 損保協会委託方式では、利益還元はできませんが、異常な大量の交通事故が発生しても一般財源を持ち出す必要がありません。
- 三 生活消費協同組合法に基づく生協方式

三の生協方式では、加入資格、被害者への見舞金等は、一、二の方式とは同じですが掛金が一人一日二円、年額七三〇円と倍になっています。

当町は、昨年五月から隣町蒲原由比とともにこの制度を研究、八月には町内全世帯の一割を対象にしたアンケートによりこの種補償制度の希望度を調べるなど、昨年十二月まで慎重な検討を重ねてきた結果、さしあたって日本損保協会に委託する方式で「町民交通傷害保険」を四月一日から実施することになりました。

担当する役場総務課（大久保芳夫課長）では、二月二十日に、区長会・交通安全協会・各区交通安全委員連絡会を中心に説明会を開き三月初旬から中旬にかけて保険申込の受付を開始する予定で準備を進めています。

### 町民交通傷害保険

#### の内容

この保険で支払われる場合は、町内外で、自動車・モーターバイク・自転車・荷車などに乗っている、衝突したり、つい落、てん覆したりした事故、また、歩いていてこれらの車輛にはねられたり、ひかれたりした事故です。ただし電車、汽車、航空機、船舶などに

よる事故は含まれません。

#### 資格

保険に加入できる人は、原則的には町の住民基本台帳に登録または外国人登録されている人ですが、町内の事業所に勤務されている他市町村の人でも加入できます。

#### 保険期間（一年）

43年4月1日～44年3月31日  
三月中に申込受付をしますが四月一日から有効となります。

また四月一日以降でも、いつでも加入できますが、この場合三十五円に来年三月までの月数を掛けた保険料を納入することになります。

#### 保険料（掛け金）

ひとりにつき三六〇円。ひとり一口に限られています。

#### 支払われる保険金

①死亡 五〇万円

②けがをして医師の治療を受けたとき

六ヶ月以上 一〇万円  
三ヶ月と六ヶ月以内 五万円  
一ヶ月と三ヶ月 二万円  
一週間～一ヶ月 五千元  
一週間未満 二千元

#### 事故が起こったとき

役場窓口で保険金請求の手続をしてください。

保険金請求には交通事故証明書（警察で発行してくれます）

と医師の診断書が必要ですから事故にあわれたら軽いけががでもおろそかにしないで、必ず警察へ事故の届けをしましょう。

加入者が無免許で運転しているときの事故の場合は、保険金は支払われませんから、無免許運転はやめましょう。

○無免許運転には支払われない

## 東洋一のかん詰め工場

### ほていかん詰株式会社富士川工場

### 松野地区(南)に

ほてい缶詰株式会社富士川工場完成記念式が二月三日、同工場で挙行されました。

蒲原町、山本食料工業株式会社(山本幾太郎社長)は、昨年暮、南松野富士川右岸の丘の上の四方三千平方メートルの広大な敷地に総工費五億円を投じて新工場を建設、すでに操業していますが、これを機に関係三社を吸収合併し、社名を商品名のほてい缶詰と変更してその記念式を開いたものです。この結果、蒲原町に昭和八年創立された本社・工場とこの新工場及び由比工場、清水工場、気仙沼工場(宮城県気仙沼市)と五ヶ所の工場を擁して今後の飛躍に期すことになりました。

同社は、ミカン、マグロなどのかん詰めを生産していますが、現在、日本の輸出マグロかん詰め

二〇%を生産、かん詰め業界では日本一を誇っており、新設の富士川工場は、また、その規模と最新の設備から、この種の工場では東洋一といわれます。自動ミカン皮むき機四基、ミカン連続脱皮機二基などオートメーションシステムの工場、六百平方メートルの冷蔵庫、ボイラー室なども設け、鉄筋コンクリート造り二階建の立派な独身寮も完備しています。

ミカンの生産地や港に近く、交通の便もよく、しかも缶詰製造に決定的な要素である大量できれいな水も、富士川の豊富な伏流水に期待できるという恵まれた立地条件をもっており、日産四千ケースを生産することができます。

この新工場の進出により、松野地区はなおいっそう開発されることでしょう。

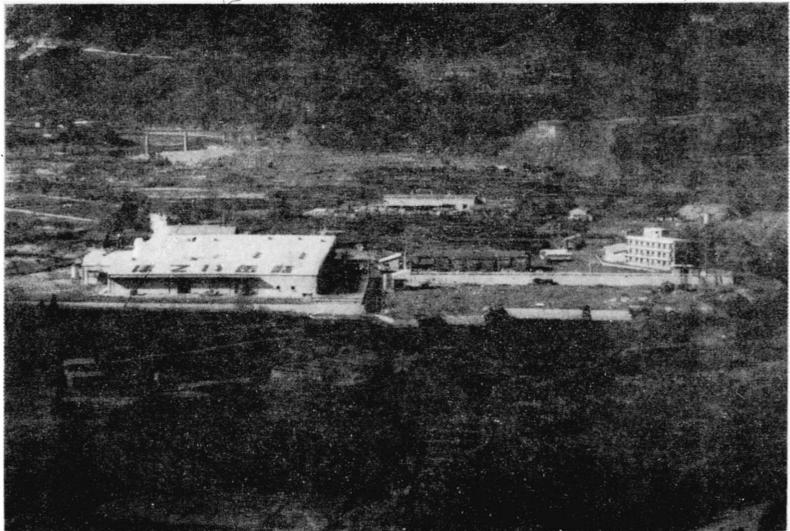


写真 ほてい缶詰(株) 富士川工場の全景

## お知らせ

### 岩淵電報電話局

※吉原の市内局番が二ケタになります

吉原の加入電話の増加に伴い、二月二十四日午後十時から市内局番が二ケタになります。

現在の二局は五二局に、三局・四局・五局はそれぞれ頭に三をつけ三三局・三四局・三五局となります。なお従来の二局の区域内に新たに五一局が誕生しますが、原則として、これから新しく加入する電話に割当られます。

※電話のかけ損じは十回かけるうち二回あります

市内局番の変更によって「電話のかけ損じ」がさらに増加することが予想されます。

電話のかけ損じのおもな原因は電話番号のウロ覚えで、ダイヤルの途中で止めてしまうもの、電話番号のかけ違いなどです。

電話のかけ損じをなくすには一 電話をかける相手の番号をメモしておく。

二 ダイヤルはメモを見ながら正確に回す。

三 利用の多い通話先は書抜表に書き出しておく。

### 東名道路無料開放を

#### 庵原三町

#### 促進委員会陳情

昨年十月二十五日の庵原郡三町議員大会で決議された県立高校設

置、富士川右岸の土地造成、東名道路の無料開放の三件を進めるため、一月十七日、庵原郡三町の正副議長、各常任委員長の計十五名で促進委員会を組織し、一月二十九日には県知事をはじめ関係方面に強く陳情しました。

# 五本の都市街路計画

## 初年度は六百万円で

### 岩淵—小池下線着工

富士川町都市街路計画は、昭和十八年に決定されていましたが、戦争に引続き終戦後の経済状況等から実施できないまま今日に至っています。

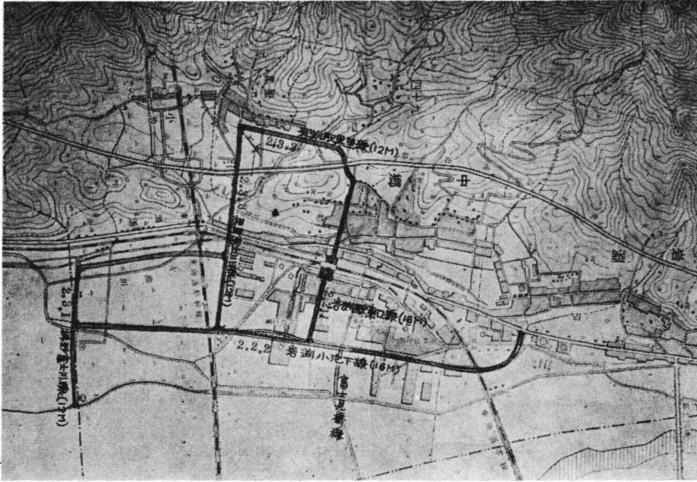


写真 富士川町都市街路計画図

ところが、最近、工業の発展に伴う工場の拡張などにより現況は当時と比較して著しく変化しています。これに加えて、国道一号線の交通渋滞のためバイパス開設が具体化しましたが、この路線が由比から蒲原を経て富士に結び、当町を通過しないので、これに主結した乗り入れ道路が是非とも必要になってきたのです。

このような事情から当町の都市街路計画も大きく変化することとなり、昭和四十二年十月十七日静岡県土木部と協議の結果、次の路線が県都市計画審議会で承認決定

## 三月一日までに

### 選挙人名簿登録の申出を

申出は、現在住んでいる市町村の名簿に登録されていない人で次の二つを満たしている人です。

- ①昭和43年3月1日で満二十才以上の人
- ②昭和42年12月1日までに転入された人、またはそれ以前から住んでいる人

該当するかたは、役場住民課窓口へ申出てください。

選挙人名簿に登録されていないと、年令が満二十才に達して

されました。

昭和42年度(予算六百万・国庫補助五割)を初年度として岩淵小池下線から施工することになりました。(土木課)

岩淵小池下線 幅員16m

旭町～蒲原町堺

岩淵駅東口線 幅員16m

岩淵駅東～右の路線

岩淵駅黒里線 幅員12m

岩淵駅前～車坂～黒里富士川線

黒里富士川線 幅員12m

宮町～国道～富士川

折形富士川線 幅員12m

小池下町道～し尿処理場南

(参加チーム28)し、6位に入賞しました。

清水市、鈴与本社玄関前～三保灯台の往復コース17キロ(4区間)で1区を佐野昇司、2区を北村正幸、3区を望月由己、4区を清勝元各選手が力走したものです。

なお優勝は小糸製作所A、二位小糸製作所B、三位は日立製作所でした。

タイム

優勝チーム 五三分五三秒

当町チーム 五六分一四秒

### 町各種団体長会議で

#### 祝儀徹廃を決議

富士川町各種団体長会議(団体代表者四十六人)が、一月二十日老人福祉センターで開かれました町当局が、各種団体の代表者の要望・意見を聞いて、なおいっそう民主的な町政の執行を図ろうとして開催されたものです。

現在、町当局では、当日の要望意見をとりまとめた資料について慎重な検討を加え、今後の町政に反映させようと努力しています。

また当日の全員の申し合わせにより、今後各種団体の行事については町は勿論、各種団体間でも一切祝儀を出さないことを決定しました。

### 当町体協陸上部

#### 第17回清庵駅伝大会で

#### 第六位に入賞

富士川町体育協会陸上部は、一月二十八日に行なわれた第17回清庵駅伝競走大会の一般の部に出場

# 所得税の確定申告

## 二月十六日から三月十五日まで

### ◎所得税の申告と納税

ことしはまた二月十六日から三月十五日まで、所得税の確定申告をしていただく時期がきました。昨年からの国税と地方税の申告の手続きが簡素化され、所得税の確定申告書に事業税および住民税の申告欄が設けられ、この欄に記入することによって一度の申告で済むようになりました。

しかし所得税の申告を必要としないかたは、従来どおり事業税および住民税の申告書をそれぞれ県および町へ提出していただきます。ことしも自主申告を推進

所得税の申告は、本来ご自身で所得を計算していただく申告納税制度がたて前となっております。この制度が発足してからすでに21年目を迎え、相当数のかたが自主申告をされていますので、税務署ではことしも自主申告をさらに推進したいと考えています。

そこで税務署では、従来のように税務署へお出かけいただく日時の通知はしませんから、この趣旨をご理解いただき、ご自身で所得を計算して申告するようお願いし

ています。

### ◎お気軽に納税相談所へ

申告についてお分かりにならないことがありましたら、税務署や役場税務課などに設けられる相談会場へお出かけください。

相談所では納税者の皆さんの便宜をはかることになっていきますから、お気軽にこれらの会場へ出てご相談のうえ申告を済ませるようお願いいたします。

### 申告にあたって

毎年のことですが、相談会場へ来てから書類などを忘れて手間どるかたがよくあります。

次のようなものは必ず事前に準備しましょう。

- 一 源泉徴収票。
- 二 一契約九千円以上の生命保険料の支払証明書。
- 三 42年中に支払った損害保険料の支払証明書。
- 四 医療費控除を受けようとする人は、その領収書など。
- 五 その他、所得控除を受けようとする人は、これらに必要な書類など。

これだけは事前に必ず書いてお

きましょう

- 一 申告人の住所、氏名、生年月日、職業など。
- 二 配偶者および扶養控除該当者の氏名、続柄、生年月日
- 三 事業専従者の氏名、続柄、生年月日、従事月数など。

とくに青色申告のかたは専従者給与額、従事月数をお忘れなく。

### 青色申告をしているかたへ

43年より青色専従者給与額の限度額が撤廃になりました。そこで青色専従者給与額を必要経費に算入しようとする人は、「青色専従者給与に関する届出書」を三月十五日までに提出してください。

新しく青色申告をするかたへ

ことしから青色申告をしようとするかたは、「青色申告承認申請書」と前記の「青色専従者給与に関する届出書」を三月十五日までに税務署へお出しください。

### ◎贈与税の申告と納税も三月十五日までに

昭和42年中に個人から家や土地などの不動産や株式、現金、貴金属などの動産やその他の財産をもたらしたり、時価より非常に安い値段で譲り受けた場合など、経済的な利益を受けた場合には、贈与税がかかります。このようなかたは、二月一日から三月十五日までに申告と納税を済ませてください。

## 一 小四期工事（特別教室）

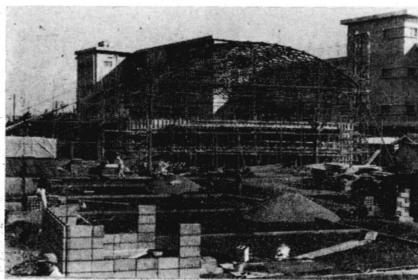
### 二千三百二十万円で落札

町立第一小学校第四期工事（特別教室）の入札は、二月五日役場会議室で九社参加して行なわれた結果、平和建設株式会社（本社富士市・久保田為雄社長）が二千三百二十万円で落札しました。

同工事は、鉄筋コンクリート構造四階建及び鉄骨構造平家建簡易耐火構造で建築面積二四二平方メートル、延面積七〇一平方メートル。

- 一階 二三五・〇平方メートル
  - 二 二一五五・四
  - 三 一五五・四
  - 四 一五五・四
- 給食室、給食倉庫、給食事務室、給食休憩室（以上一階）保健室、休養室・保健事務室・更衣及び教材室（以上二階）図工室・図工準備室（以上三階）音楽室・音楽準備室（以上四階）となつています

写真 工事中の一小体育館と一幼の基礎工事（手前）



また、この給食室は、第一小学校の給食だけでなく、町内各校の給食を一手に引き受けるもので給食センターとも呼ばれる特色あるものです。

工事は二月十五日の起工式から開始され、ことし八月十日完成の予定で進められます。

第一小学校は、現在行なわれている体育館兼講堂とこの特別教室の建設、校庭の整備完成を経て近代的小学校の全機能をもつことになりま

# 火災と悪縁

## 当町の「二月」

### 二月八日は過去三年連続出火

二月一日午後五時四十分、本通一  
の竹島宅（竹島建設株式会社  
長竹島重雄氏）から出火した火災  
は、同家（木造二階建、建築面積  
八三・四㎡ 延一四二、六㎡）を  
半焼、隣家の笠井宅（野田合板株  
式会社勤務笠井順次氏・木造二階  
建 建築面積八〇・八㎡ 延一〇



写真 火災現場の検証（竹島宅）

火災原因は、煙突の飛火が  
屋根裏板に燃え付いたもの  
と推定されています。

また二月九日早朝には役  
場隣家の羽目板がこげると  
いうゴヤがあり、関係者を  
ヒヤリとさせています。

当町の「二月」は火災と  
悪縁があり、とくに二月八  
日の日には過去三回連続出  
火の記録があります。  
空気は異状に乾燥してい  
ますから火の元には充分注  
意しましょう。

また屋外ではタバコを吸  
わないようにしてください  
三月は春の防火運動が全  
国一斉に行なわれます。  
火事は一瞬にして生命・

財産を奪う恐ろしい災害、日ごろ  
の用心が非常に大切です。

### 足ケ久保受信局

#### 有線の改良

台風等により去年から断線して  
いた足ケ久保地区の放送有線的全  
面改良工事を二月末に実施します  
従来、柱に架線していたものを

### 町婦人学級

#### 合同美術クラブ 最終講座

一月二十九日図書館で

町婦人学級の内、美術クラブ（  
23人）と郷土研究（30人）の合同  
講座が一月二十九日午後一時図書  
館で開催されました。

池谷社教主事のあいさつ、連絡  
打合わせの後、第一時は稲垣甲  
子男講師（郷土史家・考古学者）  
の「富士川町の町政について」、  
第二時は佐藤道功講師（第一中  
学校教諭）の「デザインと色彩」  
を受講しました。

両婦人学級42年度の最終を飾る  
講義で、学級生は熱心に聴講して  
いました。

なお町全婦人学級（この両学級  
の他読書・習字・音楽）は、二月  
十四日東京上野博物館、西洋美術  
館などを見学しました。

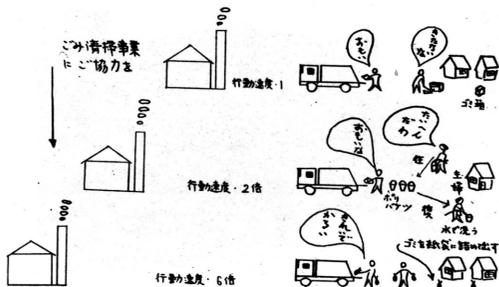
撤去し、風害に影響されないよう  
地下ケーブルで施工するもので、  
延長一三五〇メートル、工費十八  
万円。

### 本部送信用アンテナも 取替え改良

本部送信用アンテナも長年にわ  
たり、酸化老朽化がみられ送信出  
力も低下してきますので、三月上  
旬この取替え改良工事をします。



写真 合同婦人学級講座（講義中  
の稲垣甲子男講師と佐藤道功講師  
右と池谷九万夫社教主事・左）



### ゴミに手を触れない 収集作業の近代化

当町のゴミ清掃事業は、焼却場  
も収集車も機械化され、近代化へ  
の道を進んでおり、ゴミ収集の方  
法にもうひとつ工夫という段階にき  
ています。

右図の上段では、人手と時間が  
かかり、なお不衛生な収集です。  
中段の容器収集では、各家庭の協  
力がせひとも必要です。下段の紙  
袋収集では、あまり人手もかから  
ずなお非常に衛生的で、各家庭が  
少額な紙袋代を負担するだけで、  
この事業の問題点が一挙に解決さ  
れるため、保健衛生課ではこの方  
法を研究しています。

### 第5回町民各区対抗

## 駅伝競走大会の記録

町体育協会主催の第5回町民各区対抗駅伝競走大会は一月十五日に挙行されました。この行事は毎年新成人者を祝して成人の日開催するものでことは七チームが参加、北松野チームが小池チームを一一秒引離して優勝しました。

役場―相生町―木島―北松野有無瀬橋で折り返し―木島―相生町―堺町―新町―宮町―小池で折り返し―宮町―新町―堺町―役場のコースを九区間に分けて各チーム年代別九人の選手で競技しました

優勝 北松野 五九分四三秒  
二位 小池 五九分五四秒  
三位 東町 一時間〇一〇分三三秒

四位 宮町 一時間〇三〇分四秒  
五位 相生 〇四〇分三八秒  
六位 木島 〇五〇分五九秒  
七位 舟山 〇八〇分〇四秒

区間記録 〇区間新(敬称略)  
一区〇六分一五秒 望月七三郎  
二区〇二分五二秒 朝比奈敏幸  
〇三分一〇秒 若月正  
三区 九分二七秒 望月敏秋  
四区 四分五九秒 小林千洋  
五区 九分〇四秒 安藤文夫  
六区 〇三分三二秒 斎藤 隆  
〇三分三三秒 清 聖司  
七区 七分二二秒 加藤和久  
八区 二分五四秒 天野金義  
九区 八分五四秒 佐野昇司

のら 26 太 村 三



写真 優勝した北松野チーム選手役員団

### 児童施設「ひまわり園」に寄付

北松野儘下町(道上)の小川峻さんは、二男きよしさんが死亡したため、未支給であった国民年金五千円を重症身障児施設「ひまわり園」(蒲原町内)へと寄付しました。

富士川には古くから幼稚園があつて、とくに二年保育もあります。最近、保育園が新しく次々と開園されて、幼児教育に関心をもたれていることは大変喜ばしいことです。

しかし、保育園に行くことと小学校にはいれないとか、入学しても一年生するとき学力程度が下廻るなどといわれてわたくしは迷つていたらよいが迷つています。

幼稚園と保育園にどんな差別や違いがあるでしょうか、お聞かせください。

|| 回答 ||  
保育園、幼稚園はその役割と機能が違つています。

幼稚園については充分ご承知と思われますので保育園についてお答えします。

保育園は働いているお母さんに代つて、幼児を預り、保育と教育を行います。したがつて保育する時間も原則として八時間という長い時間になっています。

保育の内容も健康、社会・言語自然・音楽リズム・絵画製作であつて、これは幼稚園教育要領の内

容と全く同じです。そのうえ、保育園では午睡、主食・間食の給食を採用しており、幼児の偏食を防ぎ、保健に十分留意しています。

また保育園は、一才から就学前まで年令層も深いためと保育時間が長いことで、教育もその年令に見合った内容で実施しています。

## 住民の声

以上のように、幼稚園も保育園も幼児教育の基本を固める大切な場であり、正しい社会性、道徳性および思考の芽ばえを育て、知的情操的、身体的発達を促すところですが、ただ保育園では、この教育を一日八時間の養育内容に含ませた保育とされています。

これでお分かりのように、保育園は幼稚園の機能ももっています。幼稚園は保育の機能をもっていないという点が大きに相違ですので、保育園だと小学校にはいれないとか、一年生になつたとき学力が下廻るなどということは、全く考えられません。

役場住民課長 平田広胤

人の流れ

(敬称略)

42・12・20〜43・1・19

祝結婚

区名	新 郎	新 婦	旧 姓
舟山	藤沢 一夫	多津枝吉田	
相生	加茂 栄一	節子	水野
舟山	花田 駿	照子	山崎
東一	細川 博己	律江	細川
儘下	高岡 秋夫	妙子	篠原
南町	佐野 俊成	とみ子	小川

転出した人

区名	氏 名	転出先
新町	芦沢 裕子	横浜市
小池	加藤 順子	東京都
東二	三浦 寿枝	芝川町
木島	斎藤 好代	富士市
舟山	青木 純子	東京都
宮町	渡辺 早苗	横浜市
東一	斎藤 有代	沼津市
堺町	佐野 綾子	富士市
川坂	若月喜代子	富士市
南町	上野 幸子	富士市

祝誕生

区名	氏 名	年令
東一	斉藤 さと	八七
四十九	杉山 喜市	六七
本一	畑野 トサ	八〇
宮町	望月よしの	七二
新町	渡辺栄太郎	七二
幸町	勝又重太郎	六六
幸町	若月 まつ	六五
幸町	野沢 とく	八〇
川坂	望月 ふゆ	八三
南町	深沢 俊子	二〇
南町	望月 もと	八九
大北	松下 ミネ	七四
富士見	井出 倉三	七一
富士見	佐野勝太郎	七二
南町	望月 寅雄	六五
富士見	小泉 ふき	八五

折冥福

区名	氏 名	年令
東一	齊藤 さと	八七
四十九	杉山 喜市	六七
本一	畑野 トサ	八〇
宮町	望月よしの	七二
新町	渡辺栄太郎	七二
幸町	勝又重太郎	六六
幸町	若月 まつ	六五
幸町	野沢 とく	八〇
川坂	望月 ふゆ	八三
南町	深沢 俊子	二〇
南町	望月 もと	八九
大北	松下 ミネ	七四
富士見	井出 倉三	七一
富士見	佐野勝太郎	七二
南町	望月 寅雄	六五
富士見	小泉 ふき	八五

昭和四十二年度県の教育重点施策に「たくましいこども、根性のあるこどもを育てよう」とするねらいがある。

今のこどもは、家へ帰ればテレビへ、勉強の机へべりついているし、外へ出ればのび／＼遊ぶ場所はない、赤信号が行手をはばんでいる、車々々である。

今更昔を懐しがるのもどうかと思うが、春は山野を駆け廻っていたどりの群生をみつけ、太いのからばりばり折り取って、紙に包んだ塩をふところから出して野趣に満ちた味を楽しんだり、夏は桑の実やさくらんぼで口を紫に染めたり、冬ともなれば枝に陽の目白かごをかけ、めじろの枝伝いに寄ってくるのを心をときめかして待ったり、日の出前の神社の境内で椎の実を捨ったりというようにこどもの遊びは清澄な山野に展開された。遠山まででかけるにも足にたよるほがなく、くたく／＼に疲れた夜はぐっすり眠る、その自然に育まれてこどもの心身は伸びていった。自然のふところにはこどもを遅しく育ててくれる要素がふんだんにあったものである。

今の学校では自然に恵まれないこどもの為に鉢植を飾り、自然に似せた築山やジャンゲルを設備して何んとか自然と結びつけようと苦心しているが、まがいものは到底



本物に及ばない。学校やこども会の校外行事にしても見聞をひろめる「学習」が多くて、足を使っている遠足は敬遠される傾向だ。

さて「不言実行」という言葉がある。今の民主主義の時代には通用しそうな古い教訓であるが現代それが反動的に「有言不実行」へ移行して、意見は活発になつたが、その意見を如何に具現するかという実行の意欲に欠けているのが実情ではなからうか。今のこどもをみると親も及ばない口を持つている。これは明かに自分の意見をばつきり述べるという現代教育のねらいは達せられたと思うがその先が忘れられているようでは教育の効果を一〇〇％認めるわけにはいかない。

又家庭生活についてみると家の手伝をやらないうちが多いようである。いや、親自身がこどもに手伝わせることは勉強をさまたげることと思つている。こどもが体力能力に応じて家事を分担することはそれが生活学習であつて父母の勞

苦を知り老人の経験の深さを知ることにもなり、又自分の役割りが家庭の中でちゃんと存在価値を持つていけることを知ることにになり、家族の間における縦のきづなもしっかりとしてくるものと思う。だから家庭の年長者は年少者をつけることを怠つたり古い思想だと自ら卑下したような遠慮はすべきではない。おとなが指導的立場を放棄することなく、荒い波風に耐えていけるこどもに育てる努力をしてもらいたいものである。

春はもうそこまできている。進学、就職、入学、卒業とこどもの身辺は急に慌しくなつてきた。どうか進学するものは自ら求めた学業の場で気合いのこもつた勉強を就職するものは自ら選んだ仕事に生き甲斐を感じて修業の道を励んでもらいたい。

そうして少しの時間でもさいて山野の土を踏みじめながら、寒さに堪えて萌え出た野草の、清楚な美しさを觀賞し、枝を渡る野鳥の歌に耳を傾けてもらいたいものである。一日かけてのハイキングには一月三十日に完通したかきあな——足ヶ久保もいゝコースである五ヶの山道は野趣に富んでいて、峠から眺める伊豆連峯——富士山——雪の南ア連峯の景観は雄大なものである。

(筆者 教育長)